

研究課題(テーマ)	本学学生に向けた読書啓発活動の推進		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	図書館運営委員会	委員長	川上 智規
研究結果の概要			
<p>読書啓発活動の推進のため、以下の活動を実施した。</p> <p style="text-align: center;">読書啓発コーナーの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き学生選書企画を実施した。その結果、昨年、一昨年度と同様に、学生選書企画への応募が多数あった(「スマホで選書」参加者：のべ22名、選書数：73冊)。</li> <li>・司書職員の選定による図書補充も行った。</li> </ul> <p style="text-align: center;">ベストリーダー賞の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合部門(分野を問わず貸出数が最多の学生)及び読書のすすめ部門(読書のすすめコーナーからの貸出数最多の学生)の2部門制に広げた優秀読者の表彰(ベストリーダー賞)を行った。</li> </ul> <p style="text-align: center;">電子書籍の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TPU電子図書館やMaruzen eBook Libraryで利用できる電子書籍の充実を図った。就職関連書籍などTPU電子図書館では25冊、eBook Libraryでは139冊を導入した。</li> </ul> <p>それらの活動の結果は以下の通りであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響のため直接的な比較は困難ではあるものの、昨年度に比較して、図書館入館者数は約5%増加、書籍の貸し出し数は約600冊(7%)の減少であった。一方、eBook Libraryへのアクセス数は昨年より16%の増加があった。eBook Libraryへのアクセス数が大幅に増加しているが、eBook Libraryへのアクセス数はコンテンツ数にほぼ連動していることから電子書籍の充実が読書習慣の向上への取り組みとして効果があることが示された。</li> </ul>			
今後の展開			
<p>今後も読書啓発活動を継続し、新型コロナウイルス感染症対策として学外者の図書館利用を制限してきたが、5類感染症となったことから、学外者の利用をコロナ禍前と同様とする。eBook Libraryのコンテンツの充実が読書習慣の向上への取り組みとして効果があることが示されたため、学外からも利用できる電子書籍の充実も含め読書啓発活動を継続する。</p>			